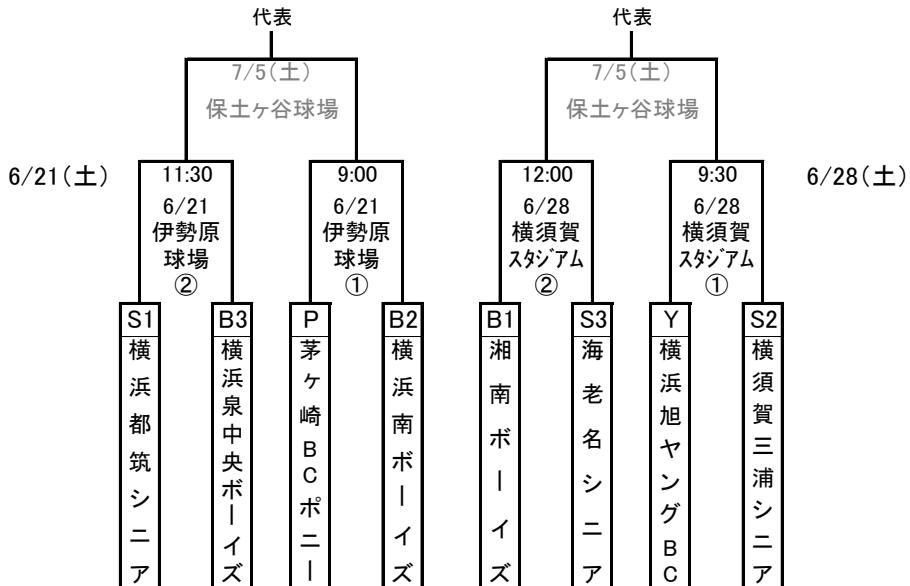


第19回 全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ 関東地区 第2次神奈川予選 概要

- 第2次予選使用会場
- ・ 1回戦 6/21 伊勢原球場
 - 6/28 横須賀スタジアム
 - ・ 決定戦 7/5 保土ヶ谷球場

組 合 せ



審 判 員 責任審判はリトルシニアで行う。派遣審判の依頼は4団体協議会より案内

球 場 管 理

	伊勢原球場	横須賀スタジアム	保土ヶ谷球場
球場運営リーグ	ボーズ	シニア	ボーズ
グラウンド当番	横浜南B	横須賀三浦LS	***

試 合 球 大会本部で用意

選手登録書 2次予選の選手登録は20名以内。ベンチ入りは24名まで：選手20名、監督、コーチは4名以内。
※コーチ(代表者、マネージャー、スコアラー等を含む)3名以内。

メンバーパーチ 事前に案内済みの登録書5部(コピー)と、メンバー表(当日のスターティングメンバーのみを記載/控え選手は未記入で可)5枚綴りを到着後速やかに提出。メンバー表は各団体の物で可。

ロジンバッグ 試合する各チームで用意

大会記録用紙 ボーズで用意

大 会 規 則 ジャイアンツカップ規約に準ずる。

- ・ 試合成立
 - 4回終了を以って試合成立とする。
試合は2時間制限試合とし、4回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でのイニング(表裏)を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。
(3回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する4回終了までは、そのまま継続して行なう)
 - 4回終了前に、降雨や視界不良などにより試合続行不可能となった場合には、特別継続試合とし、後日中断した状況で再開する。
 - 試合成立後に、上記理由により試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。
同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

- ・タイブレーク 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長10回あるいは試合開始から2時間を超えては(どちらか早い条件採用)新しいイニシエーションに入らず、タイブレーク方式を実施する。(一死走者満塁から開始)
- ・コールドゲーム 4回以降10点差
- ・投手の投球制限 『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。
(球数はジャイアンツカップ規程とする)
(対戦する2チームから投球数カウント係りを各1名出し2名体制で行う)

そ の 他

- ・決定した代表の順位はトーナメント戦の得失点で決める。同点の場合は得点の多いチームを上位とする。それでも決定しない場合は失点数の少ない方が上位、以降は抽選で決定する。
- ・チームは単独チームとし、ベンチに入れる指導者は、監督・コーチ(代表者・マネージャー・スコアラー等)含め4名までとする。
選手、監督、コーチは同一のユニフォームを着用し、背番号は所属の団体の規定に従う。スコアラーはスポーティな服装を着用する。
- ・シートノック時間 5分
- ・スパイクはシートノックから着用。それまではアップシューズを着用。
- ・次試合のチームの投手は、前試合4回終了以降ブルペンでの投球練習を認める。
(室外のブルペンでは捕手をガードする選手(ヘルメット着用)を付ける。)
- ・投手のマウンドでの投球練習は6球以内とする。
- ・投手が次の回の投球に備えて行なうベンチ前でのキャッチボールは禁止。
ブルペンでのキャッチボールは認める。
- ・捕手用マスクでSGマーク(安全基準適合マーク)がないマスクは使用できることになります。
当日、使用する捕手用マスクのSGマークが確認できない場合は使用できませんので注意して下さい。
- ・打者のヘルメット(フェイスガード付き含め)はSGマークおよび購入年月日の記載がない物は認めない。
- ・アームスリーブの使用を認める。投手以外については、片方の腕だけに着用する事を認め、両腕の長さが違っていても公認野球規則3.03(e)に違反するものとはしない。投手が使用する場合は、両袖の長さは同一とする。
商標の表示は認めず、色はアンダーシャツと同色とする。

4団体 統一ルール

- ☆ 試合中のブルペン使用(投球・送球練習)についてはブルペンで1組とする。
(ジャイアンツカップ規程より)
- ☆ 予選においてはボールパーソンを外野に配置。その選手はベンチ入り選手以外も可とする。
- ☆ 4回のグラウンド整備時間は試合時間に含めない。(時間は本部席で管理)

以上

神奈川中学硬式野球4団体協議会